



展部し、この闘いで作り出された組織の強大  
 在に小ま元、政府文藝者階級の攻撃と反対運  
 動の激化の一定の主要諸条件の成熟の判断に  
 基づいて、佐上自民党政府打倒の闘いへ  
 更には国民権力打倒をめざす闘いへと高揚  
 させていくことを明らかにし、闘っていかねば  
 ならない。か  
 カニには、白人階級闘争の特質に規定されつ  
 った噴出した学闘闘争、大学立法闘争の主体的  
 推進相違を明らかにし革命的に推進すること  
 にある。  
 まずわれわれは、全国学闘闘争の現実的根拠  
 である、自治規制、校門閉鎖、教育研究制限  
 度の矛盾を規定している「四大協路線」私  
 大協路線の反动性を政府、文部省の文教政策  
 と日本資本主義の経済相違との劇連で果口し  
 一部諸君達による「帝大解体」合理社会秩序  
 等の主張に対し、一方では「革命主義」の  
 学闘闘争への立ち上がりとして革命的に批判  
 することと、他方ではその理論的基礎づけに  
 力をつけている。没イデオロギイ的、大学論、教育論  
 等を積極的に止揚していくため、それらの理  
 論的解明を史的唯物論的に経済学的に追求し  
 つつ、同時に、学闘闘争と政治闘争の直接的  
 結合と対決し、その同時的推進への相違を明  
 らかにし、きりきれぬならない。  
 として、第三の根拠は以上の様な、突進、衝動  
 闘争方針、学闘教育闘争方針の理論的解明と同  
 時にそれと物質化する運動の組織活動の極々  
 の具体性と豊富性を為しとせざるに於ける。  
 更に激しく流動する学生戦線の現実的諸条件  
 を分析し、統一行動を柔軟に展開していくこ  
 とを追求し、我々はその運動の組織論の理  
 論的解明を小ま元、日大を共闘の革命の再編  
 を充ち取って行かねばならない。再編

第四の根拠は、国家権力の熾烈な弾圧下にお  
 いて、式楽闘争形態を柔軟に駆使し、一貫  
 して、試問的、大衆的に闘いを繰り広げ、反響保  
 衝動闘争の高揚を切り拓いてきたことには、か  
 らざるを得ない。  
 小ブル急進主義者が、大衆闘争の試問的学闘  
 闘争形態の駆使を、革命闘争形態と二重映し  
 したり、あるいは闘争形態の発展の延長上に  
 革命情勢の発生を夢想することによって、闘争  
 形態のエスカレートを自己目的化する傾向と  
 質的に区別される地平においてあくまで、  
 我々の試問的物質化の手段としてとらえ  
 階級闘争の主要の諸条件に踏まえつつ闘  
 てきたのである。  
 我々は以上の様な、切年の闘いの教訓を  
 更に深めつつ内外に物質化することをお  
 して、石年へ向けての我々の闘いを押し進  
 めて行かねばならない。

日大斗争胜利!!  
 全国学闘斗争胜利!!  
 全共連の革命的再編を!!

12000